

「実践酪農学」および 「実践酪農学演習」のシラバス



2008年度 実践酪農学学習計画

週	月・日	講義テーマ	講師名	主な内容
1	4.15	◎ 実践酪農学ガイダンス	酪農大 干場信司	1. 実践酪農学コースとは 2. 授業計画と狙い
2	4.22	◎ 北海道酪農の現状	酪農大 新名正勝	1. 北海道酪農の現状と課題 2. 予備知識の整理
3	5.13	◎ 放牧酪農について	足寄町 佐藤智好	1. 放牧酪農の実態 2. 条件、経済性、労働
4	5.20	◎ 教育ファームについて	帯広市 広瀬文彦	1. 広瀬牧場の歩み 2. 教育ファームの役割
5	5.27	◎ 農業の可能性	長沼町 駒谷伸幸	1. 農家がやれること 2. これからの農業・農村のあり方
6	6. 3	◎ 研修牧場の役割	別海酪農研修牧場 谷野牧場長	1. 酪農研修牧場の役割 2. 新規就農者の育成実態
7	6.10	◎ 預託牧場について	ギガファーム 兼松社長	1. ギガファームの歩み 2. 参加農家の変化と今後の展望
8	6.17	◎ 女一人の新規就農	新得町 高木文生	1. 高木牧場の歩み 2. これからの営農計画
9	6.24	◎ 農業経営を考える	酪農畜産協会 須藤経営支援部長	1. 農業経営とは 2. 経営として考えておくべきこと
10	7. 1	◎ 鹿追町の酪農振興	鹿追町 上村営農部長	1. 鹿追町における酪農振興 2. これからの鹿追町農業の展望
11	7. 8	◎ 牛乳の加工と流通	サツラク 野名市乳部長	1. サツラクの役割 2. 牛乳の加工と流通
12	7.15	◎ 農村と都市の架け橋	新得町 湯浅優子	1. 湯浅牧場の歩み 2. 今後の経営展開
13	7.22	◎ 浜中町の酪農振興	JA 浜中町 高橋参事	1. 浜中町酪農の実態 2. これからの浜中町農業のあり方

注) ①毎週火曜日 16:20~17:50、C-10 教室

②学科講演会等との関連で一部日程・会場変更があるかも知れません。その時は事前に連絡をします。

2008 年度 実践酪農学演習学習計画

週	月・日	講義テーマ	講師名	主な内容
1	9.30	実践酪農学コースの取り組みについて 実践酪農学演習の授業計画について 夏期酪農実習の報告	干場・猫本 新名・猫本 農家実習者	学習構成 授業計画 体験報告
2	10.7	農場実習報告会	実践酪農学 コース2年生	体験報告会
3	10.14	粗飼料の栽培と管理	義平	栽培管理 植生・収量 施肥設計
4	10.21	土づくりと飼料生産	松中	土壌の見方
5	10.28	サイレージの作り方と品質判定	名久井	調製方法 品質判定
6	11.4	乳牛の栄養管理と BCS	泉	BCS DMI
7	11.11	家畜の消化と栄養	岡本(全)	基本用語
8	11.18	乳牛の行動と観察	森田	行動観察 管理の適否
9	11.25	正しい搾乳手順 乳検データの見方と利用	新名	泌乳生理 搾乳観察 乳検データ
10	12.2	発情とその見方	堂地	発情観察
11	12.9	牛舎施設と環境	干場	環境適否(換気・牛床・飼水槽)
12	12.16	酪農経営を考える	荒木	多様な経営
13	1.20	畜産環境について	猫本	家畜ふん尿 処理室排水

注) 実践酪農学演習は火曜日第7-8(14:40~16:10)時限。南30教室

